

A M D A ネパール子ども病院

救急車1台を発送

団体贈るの市市民団
贈るの会が寄贈

000人当たり92人。下痢など、適切な治療をしていれば助かるケースがほとんどで、A M D A では「搬送途中で応急処置ができることは大きな救いになる。一人でも多くの子供の命が救えれば」と話している。

ネパールの乳幼児死亡率は1994年のデータで1

ネパール・プトワル市の「A M D A ネパール子ども病院」に向け、里庄町の市民団体「同病院に救急車を贈る会」（北浦信夫代表）の寄贈した救急車1台が6日、広島県尾道市から発送された。11月2日に開かれる病院開設1周年の式典に合わせて、現地に到着する。

同会は子供たちのためにコンサートを開いている音楽同好会が母体。昨年12月から支援コンサートで資金を集め、7月に4輪駆動の大型ワゴン車を改造した救急車をA M D A に寄贈した。子ども病院には現在、乗用車が1台あるだけで、救急患者への応急処置は困難という。



ネパールへ向け出発する救急車を送る北浦信夫代表（左から2人目）